

日時：平成 24 年 8 月 11 日(土)12:10-13:30

東京大学 柏キャンパス 環境棟 2F 235 会議室

出席者：

秋本肇（会長）、菱田公一（副会長）、小泉安郎（副会長）、梅川尚嗣（情報部会長）、川原頭磨呂（企画部会長、九州地区担当）、大川富雄（国際部会長）、呉田昌俊（総務部会長）、森昌司（理事、関東地区担当、OMF 担当）、真田俊之（理事、東海地区担当）、吉野正人（年会講演会実行委員長）、賞雅寛而（ICMF 運営委員長）、近藤健（事務局長）

議題と配布資料：

1. 会長挨拶、理事紹介、理事役員名簿確認 [資料 2012-1-01]
2. 前回議事録の確認 [資料 2012-1-02]
3. 今年度理事会開催スケジュールについて [資料 2012-1-03]
4. 委員会委員 [資料 2012-1-04]
5. 地区代表の選出について [資料 2012-1-05]
6. 学会賞の選考準備について [資料 2012-1-06]
7. その他

議事：

1. 会長挨拶、理事紹介、理事役員名簿確認  
出席した理事・役員の自己紹介を行った。
2. 前回議事録の確認  
・呉田総務部会長から資料 2012-1-01 に基づき 2011 年度第 5 回理事会議事録の確認があった。
3. 今年度理事会開催スケジュールについて  
・本年度は理事会を 5 回開催することが承認された。  
・第 2-5 回の開催日については以下の予定で行うことになった。  
第 2 回 10 月 6 日（土） 午後 大阪 （確定）  
第 3 回 12 月 15 日（土） 午後 東京 （確定）  
第 4 回 3 月 2 日（土） 午後 大阪 （確定）  
第 5 回 7 月 13 日（土） 午後 東京 （確定）  
・旅費支給額の計算方法について、資料[資料 2012-1-03]を確認した。
4. 委員会委員  
・呉田総務部会長から資料 2012-1-04 に基づき各種委員会委員長について説明があり、承認した。
5. 地区代表の選出について  
・呉田総務部会長から資料 2012-1-05 に基づき、評議委員を推薦する地区代表者の説明があり、評議員、

監事選挙までのスケジュールを確認した。

#### 6. 学会賞の選考準備について

- ・秋本会長より、2012 年度学会賞選考委員長として菱田公一氏が推薦され、理事会として承認した。
- ・表彰規定に基づき、2012 年度名誉会員選考委員長を菱田筆頭副会長が担当することを確認した。

#### 7. その他

- ・秋本会長から以下の意見があった。日本混相流学会の会員規模は小さいが会議・国際会議には毎年開催されるもの、ICMF の様に 3 年毎に開催されるものまで含め数多くが開催されている。整理した方が良いのではないか。また、この際、個人ベースで実行委員長を選出する傾向があるが、(地域や産官学別) マトリックスを作って長期的・計画的に企画を進めた方が良いのではないかと提案があった。
- ・大川国際部会長が道奥副会長の代弁として、理論応用力学講演会の OS として JSMF は副幹事学会として、混相流の数値シミュレーション(オーガナイザー:松隈洋介氏、高田尚樹氏、大川富雄氏)と混相流動機構の実験的探求(オーガナイザー:細川茂雄氏、岡本孝司氏、村井祐一氏)の 2 セッションを提案する旨の報告があり、これを承認した。また、詳細をメール審議し、9 月号会告に OS 案内を入れる事を承認した。
- ・年会講演会の講演論文集の配付媒体に関して、紙媒体配付、USB 媒体配付等の長短を議論し、次回年会講演会に関しては、従来通り紙媒体での配付と決定した。なお、次次回以降での USB 媒体配付については、次回理事会以降に整理することとした。
- ・菱田副会長から、年会講演会実行委員長について確認があり、5 年周期で全国を 8 セクションに分けて持ち回りされていることが確認された。理事会において、2014 年および 2015 年までの実行委員長を決めることを決定した。
- ・英文論文、国際化への対応について、今年度議論を深め、本年度の理事会で一定の目処をつけることとした。
- ・菱田副会長から、身の丈にあった財務運営を目指すため、財務帳簿を見て、カウンターバランス(収支)を熟考することが重要との提言があった。そこで、財務の収益の現況を調べて、小泉財務担当副会長に収支(会費の値上げ等や会員へのサービス等)のバランスを考えていただくことを依頼した。
- ・混相流シンポジウムの開催に関して、次年度(長野)は開催することを決定した。次次回(長野の次)に関しては、菱田筆頭副会長と小泉副会長を中心として、シンポジウムを年会講演会とは別に開催する、シンポジウムをやめる等を含めて考えていただくこととした。第 2 回理事会で開催場所を含めて議論することとした。
- ・梅川情報部会長から、論文校正ミス無くすためクラウドの使用を検討していることが報告された。
- ・呉田総務部会長から次期総務委員長候補の高木周氏(東京大学)の本年度理事会へのオブザーバー参加について提案があり、これを承認した。
- ・30 周年に向けての企画を考えて実らず取り組みはすべきであるが、25 周年の企画を次回年会講演会(長野)で行うことはしないことを決定した。

以上

総務委員長: 呉田 昌俊